



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月9日

上場会社名 東京製綱株式会社 上場取引所 東  
コード番号 5981 URL <https://www.tokyorope.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 原田英幸  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員総務部長 (氏名) 喜旦康司 (TEL) 03-6366-7777  
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	48,052	△4.2	2,439	8.4	2,761	0.9	2,032	5.2
2023年3月期第3四半期	50,170	9.9	2,249	193.0	2,737	168.4	1,932	212.6

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 3,941百万円(△4.1%) 2023年3月期第3四半期 4,109百万円(313.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	127.48	—
2023年3月期第3四半期	119.80	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	89,945	34,789	38.6
2023年3月期	88,753	31,298	35.0

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 34,686百万円 2023年3月期 31,042百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 35.00	円 銭 35.00
2024年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —		
2024年3月期(予想)				40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	68,000	1.3	3,600	8.9	3,700	1.3	2,700	△28.6	167.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	16,268,242株	2023年3月期	16,268,242株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	315,640株	2023年3月期	331,087株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	15,944,561株	2023年3月期3Q	16,129,208株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、役員向け株式交付信託が所有する当社株式(2024年3月期3Q:130,200株)を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、鋼索鋼線関連においてはハイエンド製品の売上増加や前期に実施した製品価格改定の効果等により増加いたしました。スチールコード関連での市況低迷等に伴う販売数量減少や開発製品関連では前々期からの繰越案件消化で国内防災事業の売上が大きく増加した前年同期からの反動減があり、減収となりました。その結果、売上高は48,052百万円（前年同期比4.2%減）と減少いたしました。

一方、利益面においては、鋼索鋼線関連では販売構成差や製品価格改定等の効果により諸資材・エネルギー価格の高騰を吸収し、また、スチールコード関連においてもマージンの改善や操業コスト低減などに努めた結果、開発製品関連の売上減少に伴う影響はありましたが、営業利益は2,439百万円（前年同期比8.4%増）、経常利益は2,761百万円（前年同期比0.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,032百万円（前年同期比5.2%増）と、いずれも増益になりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

#### (鋼索鋼線関連)

付加価値の高いハイエンド製品の販売増加に加え、諸資材・エネルギー価格高騰への対応として前期に行った製品価格改定の効果等により、売上高は前年同期に比し増加しました。また、適正利潤の確保に努めた結果、諸資材・エネルギー価格の高騰を吸収しマージンの改善も一定図られ、利益面でも前年同期からは増加いたしました。当事業の売上高は21,323百万円（前年同期比4.5%増）、営業利益は2,000百万円（前年同期比39.3%増）となりました。

#### (スチールコード関連)

一昨年末以降、北米でのタイヤ販売が低調に推移している影響等によりタイヤ用スチールコードの販売量が減少し、当事業の売上高は5,907百万円（前年同期比15.8%減）と減少しました。利益面では、販売量減少の一方で、販売構成の良化や電力・諸資材等の高騰を受けて実施した価格転嫁でのマージン改善、生産規模に合わせた操業体制の見直しなどのコスト低減に努めた結果、営業損失は296百万円（前年同期は795百万円の営業損失）と赤字幅を大きく圧縮いたしました。

#### (開発製品関連)

前年同期の国内防災関連は、前々期からの繰越案件の影響があったほか、スポット案件も集中し、売上が増加しましたが、当期は例年並みに推移いたしました。また、CFCC事業では、新規の国内土木向け案件が増加した一方で、前期より継続しているプロジェクト案件の工期調整等により、売上・利益ともに減少いたしました。当事業の売上高は13,097百万円（前年同期比8.0%減）、営業利益は252百万円（前年同期比74.2%減）となりました。

#### (産業機械関連)

粉末冶金関連において、超硬製品の客先での在庫調整が続いており、売上・利益とも減少いたしました。当事業の売上高は3,004百万円（前年同期比3.3%減）、営業利益は203百万円（前年同期比31.5%減）となりました。

#### (エネルギー不動産関連)

原油価格の変動等により石油類の販売額が低下したうえ、暖冬の影響で消費量も低下いたしました。当事業の売上高は4,718百万円（前年同期比12.7%減）となりました。利益面では、主に商業施設の修繕費等運営費用が増加したことから、営業利益は279百万円（前年同期比16.5%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前期末に積み上がった売上債権が回収され減少しましたが、一方で手元資金が拡大したことや、棚卸資産の増加などにより、前連結会計年度末と比べ1,191百万円増加の89,945百万円となりました。

負債については仕入債務が減少したほか、借入金を返済したため、前連結会計年度末と比べ2,299百万円減少の55,155百万円となりました。

純資産については、前連結会計年度に係る株主配当金の支払があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加や、円安に伴う為替換算調整勘定の増加、その他投資有価証券の評価増などによ

り、前連結会計年度末と比べ3,491百万円増加の34,789百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月12日決算発表時に公表しました予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,740	6,797
受取手形、売掛金及び契約資産	16,299	15,563
商品及び製品	7,637	8,367
仕掛品	4,652	4,699
原材料及び貯蔵品	4,772	5,187
その他	1,508	1,554
貸倒引当金	△17	△19
流動資産合計	40,592	42,150
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,881	6,933
機械装置及び運搬具（純額）	4,994	4,840
土地	18,183	18,192
リース資産（純額）	989	887
建設仮勘定	335	298
その他（純額）	504	467
有形固定資産合計	31,890	31,620
無形固定資産	477	509
投資その他の資産		
投資有価証券	7,359	7,285
退職給付に係る資産	1,162	1,432
繰延税金資産	3,369	3,094
その他	4,155	4,068
貸倒引当金	△253	△217
投資その他の資産合計	15,792	15,663
固定資産合計	48,161	47,794
資産合計	88,753	89,945

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,997	12,042
短期借入金	12,875	14,943
未払費用	2,262	2,299
賞与引当金	968	539
その他	5,036	4,739
流動負債合計	34,139	34,564
固定負債		
長期借入金	12,739	10,146
リース債務	791	752
再評価に係る繰延税金負債	3,919	3,919
役員退職慰労引当金	160	149
役員株式給付引当金	12	12
退職給付に係る負債	4,537	4,482
資産除去債務	591	591
その他	561	535
固定負債合計	23,315	20,590
負債合計	57,454	55,155
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	1,059	1,063
利益剰余金	16,999	18,562
自己株式	△469	△453
株主資本合計	18,589	20,172
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,815	2,314
繰延ヘッジ損益	△0	△1
土地再評価差額金	9,063	9,063
為替換算調整勘定	2,185	3,687
退職給付に係る調整累計額	△610	△549
その他の包括利益累計額合計	12,453	14,514
非支配株主持分	255	103
純資産合計	31,298	34,789
負債純資産合計	88,753	89,945

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	50,170	48,052
売上原価	39,914	37,903
売上総利益	10,255	10,148
販売費及び一般管理費	8,006	7,709
営業利益	2,249	2,439
営業外収益		
受取利息	10	37
受取配当金	211	197
為替差益	270	26
持分法による投資利益	118	229
その他	212	165
営業外収益合計	823	657
営業外費用		
支払利息	191	179
その他	145	155
営業外費用合計	336	335
経常利益	2,737	2,761
特別利益		
投資有価証券売却益	—	303
特別利益合計	—	303
特別損失		
減損損失	49	13
本社移転費用	55	—
貸倒引当金繰入額	30	—
投資有価証券評価損	—	3
関係会社出資金評価損	—	458
為替換算調整勘定取崩損	—	178
特別損失合計	135	654
税金等調整前四半期純利益	2,601	2,410
法人税等	994	528
四半期純利益	1,607	1,881
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△324	△151
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,932	2,032



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	1,607	1,881
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	212	499
繰延ヘッジ損益	△2	△1
為替換算調整勘定	1,889	1,282
退職給付に係る調整額	59	59
持分法適用会社に対する持分相当額	343	219
その他の包括利益合計	2,501	2,059
四半期包括利益	4,109	3,941
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,436	4,093
非支配株主に係る四半期包括利益	△327	△152

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計	調整額	四半期 連結損益 計算書 計上額
	鋼索鋼線 関連	スチール コード 関連	開発製品 関連	産業機械 関連	エネルギー 不動産関連			
売上高								
外部顧客への売上高	20,397	7,018	14,242	3,108	5,402	50,170	—	50,170
セグメント間の内部 売上高又は振替高	190	261	3	76	634	1,165	△1,165	—
計	20,588	7,279	14,246	3,184	6,037	51,336	△1,165	50,170
セグメント利益又は セグメント損失(△)	1,436	△795	978	296	334	2,249	—	2,249

(注) セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計	調整額	四半期 連結損益 計算書 計上額
	鋼索鋼線 関連	スチール コード 関連	開発製品 関連	産業機械 関連	エネルギー 不動産関連			
売上高								
外部顧客への売上高	21,323	5,907	13,097	3,004	4,718	48,052	—	48,052
セグメント間の内部 売上高又は振替高	360	112	3	70	496	1,043	△1,043	—
計	21,684	6,019	13,101	3,075	5,214	49,095	△1,043	48,052
セグメント利益又は セグメント損失(△)	2,000	△296	252	203	279	2,439	—	2,439

(注) セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。